



今年の二十歳の集いは平成16年度生まれが対象。
錦江町では対象者89名のうち46名が参加し、
大人への第一歩を踏み出しました。

二十歳 89名 (46名)

大根占地区 65名 (33名)

田代地区 24名 (13名)

※ () 内は参加者数

令和7年



まさひと
栗脇 正仁さん [新田自治会]

支えてくれた周囲の方に感謝。日々楽しむことを忘れずに人生を歩みたい。

私自身は現在、一人前の現場監督になるため日々の業務に励んでいます。そして、将来的には一級建築施工管理技士の資格をとり、自分で建てた建物を自慢できるよう、勉強の毎日です。
自らの20年を振り返ってみると、私は周囲の人に恵まれてきたと感じました。共に自らを高めあえた友人、頼れる先輩方、ご指導いただいた先生方、優しく見守ってくれた地域の方々、そして何より、いつでも愛情をそそいで優しく厳しく私を育ててくれた両親のおかげで、今日こうして無事に「二十歳の集い」を迎えることができたこと深く感謝しております。これからも、周囲の人に感謝の気持ちを忘れずに、1人の人間として成長し、日々楽しむことを忘れずに人生を歩んでいきたいと思ひます。



はるき
久保 春貴さん [神川上自治会]

錦江町で育ったことが誇り。感謝の気持ちを忘れず生きていくことを誓います。

振り返ってみると私は人との出会いに本当に恵まれてきました。いつもわたしの周りには共に高めあえる仲間や尊敬できる先輩方がいました。素敵な方々に囲まれて、いま充実した日々を過ごしていると強く感じます。
そうした人とのめぐり合いは錦江町から始まっています。錦江町には心を和らげてくれる大きな自然や、明日も頑張ろうと思える素晴らしい夕日があります。また町の方々も温かく、すれ違うと挨拶をいただくことが多くあります。この温かな町で育ったからこそ今の私があるのだと深く感じるとともに、この町で育ったことは私の誇りです。多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに生きていくことをここに誓います。



錦江町二十歳の集い



実行副委員長
山下 慎さん

2004年(平成16年)の主な出来事

▶九州新幹線新八代駅～鹿児島中央駅間が開業▶新紙幣発行(1万円札が福澤諭吉、5千円札が樋口一葉、千円札が野口英世)▶アテネオリンピック、日本金メダル16個の快挙▶小説『世界の中心で愛をさけぶ』が大ヒット映画化

真新しいスーツ、華やかな振袖に身を包み、少し緊張した様子で訪れた二十歳の皆さん。1月3日に開催された錦江町二十歳の集いの受付会場は、友人や恩師と久しぶりの再会を喜び、談笑する姿が多く見られました。
式典では、小中学校時代を写真で振り返るスライドショーが上映され、当時のなつかしい写真の数々に会場からは笑いや歓声が上がりました。
二十歳の主張は久保春貴さん、栗脇正仁さんが代表して、これまでの感謝、これからの決意を力強く主張。式典の最後は、実行委員会副委員長を務めた山下慎さんが、「これからは、この故郷で育ったことを誇りに思い、大人としての自覚を持って行動していきます」と宣言し、感謝の気持ちを述べました。
式典後は、保護者や恩師、友人たちと晴れ姿で記念撮影。祝福や激励を受けながら、未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

未来への希望を胸に
新たな一歩を踏み出した



実行委員長
土岐 肇桜さん